

# 事務事業評価シート

評価年度	令和元年度	対象事業年度	平成30年度
------	-------	--------	--------

所属・担当者氏名	福祉部 児童福祉課 児童福祉グループ 大石 由起	評価責任者 (担当課長)	児童福祉課長 辻 猛之
----------	--------------------------	-----------------	-------------

## 1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	児童館施設の整備及び活動の充実	② 整理番号	02050102-001
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	心豊かな市民・養育・福祉	
	節	子どもを育てやすいまちづくりの推進	
	項	総合的な子育て支援施策の展開	
	号	児童健全育成環境の整備	
④ 関連する個別計画	なし	⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	児童福祉法、大和高田市児童館設置条例、同条例施行規則		

## 2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	親と子どもが集える場所の提供をし、子育ての情報交換及び悩みや育児不安の軽減・解消を図る。
② 対象 (誰・何を対象として)	大和高田市在住の親と子
③ 手段 (どのようなやり方で)	職員・子育て経験者・保育経験者等の協力により、地域の子どもや子育て中の親子に子育てに関する 情報・あそび・あそびの場の提供をする。
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	地域における親と子どもが集えるコミュニティの拠点としての活動や運営を実施し、子育てしやすい環境づくりに努め、環境の充実を図る。

## 3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移

※概算人件費は「人件費計算シート」による

(単位：千円,人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
① 直接事業費	1,740	1,659	1,669	1,916	(予算) 1,674
② 概算人件費	(4.23) 14,087	(4.08) 12,749	(4.12) 13,008	(4.12) 12,141	
(関与比率) 一般職員	(1.23) 9,011	(1.08) 7,709	(1.12) 7,933	(1.12) 7,068	
(関与比率) 嘱託職員	(1.00) 2,556		(1.00) 2,555	(1.00) 2,553	
(関与比率) 臨時職員	(2.00) 2,520	(3.00) 5,040	(2.00) 2,520	(2.00) 2,520	
③ 合計(① + ②)	15,827	14,408	14,677	14,057	
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)					
⑤ 一般財源(③ - ④)	15,827	14,408	14,677	14,057	

#### 4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実績値			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	① 開館日数	年間開館日数	243 日	243 日	243 日	244 日
	②					
成果指標	① 年間利用者数		4,567 人	4,867 人	4,082 人	3,605 人
	② 1日あたりの利用者数		19 人	20 人	17 人	15 人
効率指標	① 利用者1日あたりのコスト	事業費/年間利用者数	3,466 円	2,960 円	3,596 円	3,899 円
	②					

#### 5. 項目別評価

評価の視点	3段階評価	評価の根拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	地域における親と子どものコミュニティの拠点として、あそびの場の提供・育児相談・情報交換が行えるよう、市が実施・継続すべき事業である。
②有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	B	児童館施設の利用者は、親同士の交流やつながりが深まり、子育ての不安や悩みが軽減されるなどの効果が現れている。しかし、利用者は減少傾向にあることから、施設利用者の増加を図る必要がある。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	A	事業の効果を維持しながら、既にコスト削減対策を実施しており、これ以上の削減は困難である。

#### 6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善・見直しの内容(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)
B	<input type="checkbox"/> 人件費の重点化 <input type="checkbox"/> 予算の重点化 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 事業の統合 <input checked="" type="checkbox"/> 実施内容の変更 <input checked="" type="checkbox"/> その他
	児童館の利用者は、親同士の交流やつながりが深まり、子育ての不安や悩みが軽減されるなどの効果が現れているが、施設利用者数は減少傾向にある。今後、施設利用者数を増加させるため、親子のニーズ把握や積極的な周知活動などの対策を検討していく。

#### 7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善内容・改善計画(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)